



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2012年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 コヒーアワー : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈禱会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語部)
 益田デーロ (英語部)
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)
 (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occc.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

石 叫

石 叫 ■

「夏季修養会へ行こう」

今年も待望の夏季修養会がやってきた。僕はこの修養会に十年ほど満足に出ない。家内の腎臓移植の準備と看護のためにそれができなかったのだが、今年は今期間出席できる。かつて僕が学生としてサンタクララ教会にいた時、一度、サンタババーバラでの修養会に出席したことがある。東京聖書学院院長の小林和夫先生が主講師で、主事が日本総動員伝道のスタッフとして刈り出されて行くパンビ岸先生であった。僕はその修養会で献身をし、神学校へ行くことを決心したのだったが、そのために毎夜遅くまでサンタクララ教会の方々と共に涙の祈りを捧げ、集会での感動を分かち合ったものである。それだけに夏が来ると心が燃える。僕の信仰の原点とも言うべき心の故郷がそこにあるからだ。

話題を移そう。時に僕は一人バックバックを背負って何日もヨセミテに入る。その話を聞いた親しい友人たちから、「二人は危険です。家族が心配します。これからは止めてください」と良く言われたものである。確かにそれは一理あるのだが、僕が山に入るの山が好きだからというよりも、それは巡礼のつもりなのだ。神と出会うことなのだ。それは一人でないといけない。草木を見てはその健気さと美しさに感動し、水晶のように光るせせらぎを見ては神の国を思い、大自然を見ては動けずに感涙する。それは神の潔さ偉大さに触れるからだ。

修養会も同様である。一人、神に出会い、神の愛を確認し、神に触れて心満たされ、神の愛に押し出されて一新され、また山を下りて始まる信仰生涯をやり豊かなものとするためである。この修養会は私たちの魂の巡礼だからである。

イスラエルには三大巡礼祭がある(種入れぬパンの祭り、七週の祭り、仮庵の祭り)。そのためには各地から何十万という人々が聖地巡礼のためにエルサレムに上った。その途上、人々は都もうでの歌を歌った。一人が朗誦すると近隣の人々がその歌に続いて輪唱する。それがいよいよ主にお会いするという期待と喜びを掻き立てるのだった。その一つが詩篇一二一篇の「わたしは山にむかって目をあげる。わが助けは、どこから来るであろうか。わが助けは、天と地とを造られた主から来る」であるが、この山とはエルサレムのことであり、それを見上げながら一歩一歩、共に手を取り合って神に近づいて行くのだった。

この年、聖地エルサレムならぬ夏季修養会場であるLAXのウェスティンに上るうではないか。そこで私たちの神にお会いしようではないか。そのためにも共に励まし合い、共に手を取り合って、共に神の山に上ろうではないか。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は一九七七年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は一九二一年に創立され、現在は日英両語合わせますと二千名を越える会員になります。

私たちの教会は一八世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、三世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白といたします。

